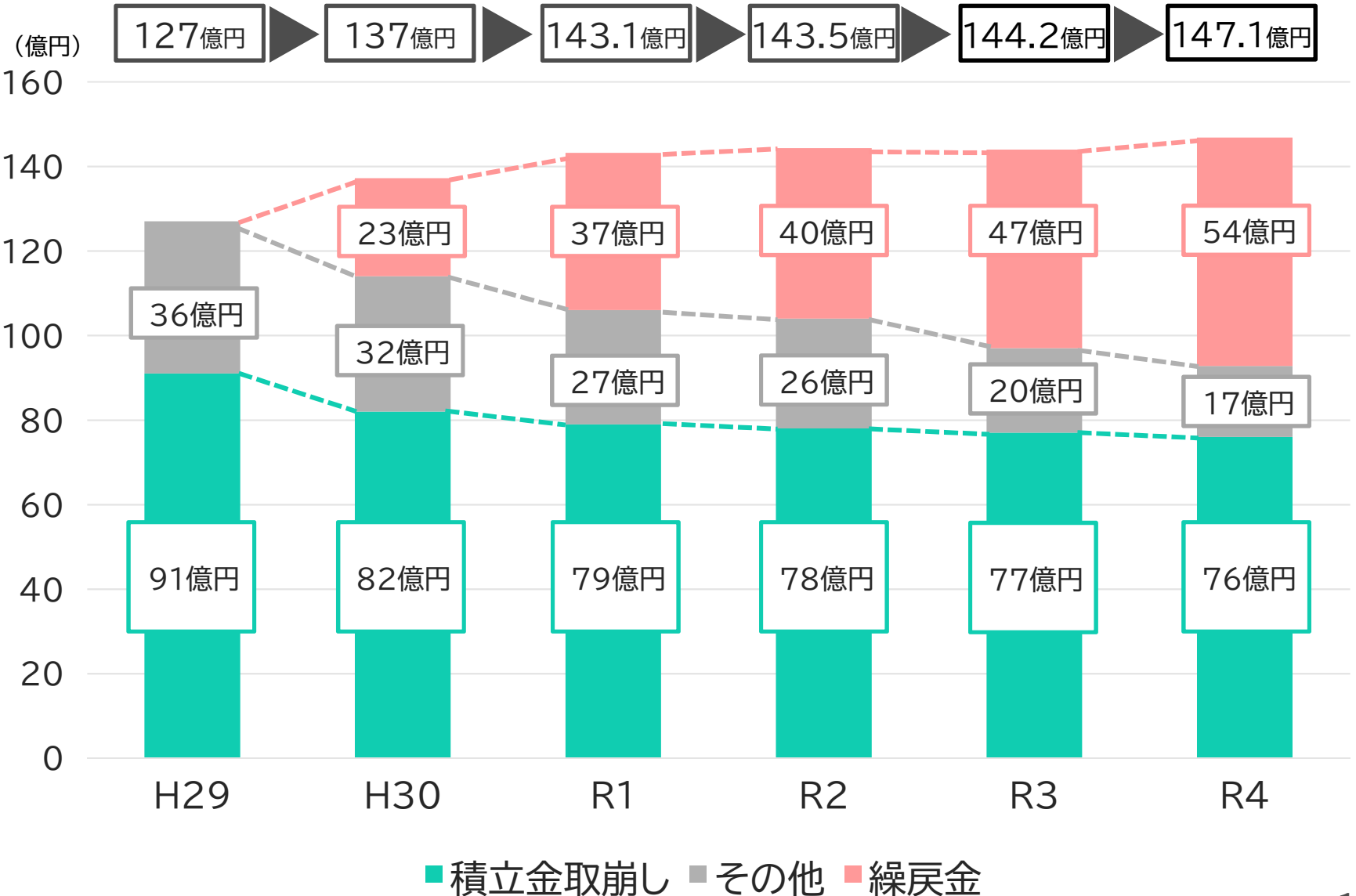


令和4年度予算の概要

令和4年3月29日
自動車局

自動車安全特別会計における歳入の推移



令和4年度予算における被害者等支援の充実

- 自動車事故による被害者等の保護の増進に取り組むことは、自動車行政における重要な使命。
- リハビリテーションの機会確保や重度後遺障害者の介護者(親族等)の高齢化等が大きな課題。
- 「今後の自動車事故被害者救済対策のあり方に関する検討会」報告書を踏まえ、被害者等支援の更なる充実を図る。

障害の態様に応じたりハビリの機会確保等 拡充

- 自動車事故によって生じる後遺障害には遷延性意識障害*、脊髄損傷、高次脳機能障害等、様々な態様が存することを踏まえ、その態様に応じたりハビリテーション等の機会を確保するために必要な支援の充実を図る。
* 脳損傷により自力移動・摂食が不可能である等の最重度の後遺障害者

【主たる取組み】

在宅療養中におけるリハビリ提供体制の構築

短期入院協力病院

強化

現状と課題
在宅療養中の重度後遺障害者の機能維持・回復の観点からリハビリが必要不可欠であるが、十分なリハビリを提供できる病院は限定的

➔ 協力病院から重度後遺障害者に対するリハビリを提供するトップランナーを選定、重点的に支援し、リハビリ提供体制を強化

高次脳機能障害者の社会復帰等を促進するための環境整備

機能訓練作業所

新規

現状と課題
高次脳機能障害への理解ある事業所が少なく、適切な自立訓練が受けられない状況や地元での生活への移行が困難な状況が発生

➔ 病院等から地元での生活への円滑な移行をサポートする取組みをモデル事業として支援し、高次脳機能障害者支援に新たに取組む

介護者なき後を見すえた受け入れ環境整備 拡充

現状と課題

- 介護者なき後の生活の場としては、グループホーム等が考えられるところ、重度後遺障害者を受け入れられる場の数の絶対数が少なく、存在していても空きがない状況。
- さらに、介護職員は厳しい人手不足の状況。

被害者の要望

- 重度後遺障害者の受入れには医療行為への対応が不可欠だが、対応できるグループホーム等は限定的であり、数を増やしてほしい。
- 介護職員の慢性的な人手不足に対応するため、介護職員の給与水準引上げに資する施策を講じてほしい。

被害者等への情報提供の充実 拡充

- 新たに「自動車事故版被害者ノート」の作成・配布等、被害者等への情報提供の充実を図る。

介護料の支給等 拡充

- 自動車事故により、移動、食事、排泄等日常生活において常時又は随時の介護が必要となった重度後遺障害者に対する介護料の支給等を行う。

現行制度の概要

介護料支給対象		介護料支給額
介護用品 <ul style="list-style-type: none"> 介護ベッド 介護用車椅子 消耗品(紙おむつ)等 	介護サービス <ul style="list-style-type: none"> ホームヘルプ 訪問入浴 訪問看護 等 	特I種(最重度)の場合 上限 211,530円 下限 85,310円
見直し 短期入院・入所費用の支給 <ul style="list-style-type: none"> 年間支給日数 : 45日 年間支給額 : 45万円 		<ul style="list-style-type: none"> 1回あたりの利用日数 : 2日~14日 1回あたりの上限額 : 1万円

適切にリハビリを実施するためには30日程度の入院が必要だが対応不可

見直しの概要

リハビリ目的で短期入院を利用する場合における**1回あたり利用日数の上限**を「14日」から「**30日**」へ**拡大**

新たな取組みの概要

新規・増設年度(上限1,500万円(補助率1/2))

開業準備段階や開業後障害福祉サービス等報酬を得られるまでの間における資金繰りを支援

自己資金

新補助金(国交省)

備品購入費、人件費、求人広告費等

補助対象事業者

・障害者支援施設・グループホーム
※新設・増設初年度に限る。

補助対象経費

グループホームや障害者支援施設の新設・増設の際に必要な初年度経費の一部

グループホーム等の数を増やすとともに、介護職員の待遇改善に取り組む

令和4年度予算における事故防止の充実

- 自動車アセスメントについて、試験項目の追加や日本主導の試験機器の開発促進を実施
- 先進安全自動車(ASV)の普及を促進し、さらに事故を削減

衝突被害軽減ブレーキ(対自転車)の試験費用 新規

自転車乗車中における死亡事故を軽減させるため、衝突被害軽減ブレーキ(対自転車)を自動車アセスメントの「新」評価項目として実施

試験のイメージ



新たな歩行者脚部保護試験の導入に係る調査研究費 新規

日本主導で開発を進めている新たな試験機器を導入し、評価部位の拡充や生態忠実度の向上により、自動車メーカーへより安全な自動車の開発・促進を促すための調査研究の実施



先進安全自動車(ASV)の普及促進

拡充

アルコール・インターロックを支援対象に追加するとともに、既存の補助対象措置について、装置の普及状況等の観点から見直しを図る。

衝突被害軽減ブレーキ
(歩行者対応)

車線逸脱警報装置

ドライバー異常時対応システム

先進ライト

統合制御型可変式
速度超過抑制装置

側方衝突警報装置

アルコール・インターロック